

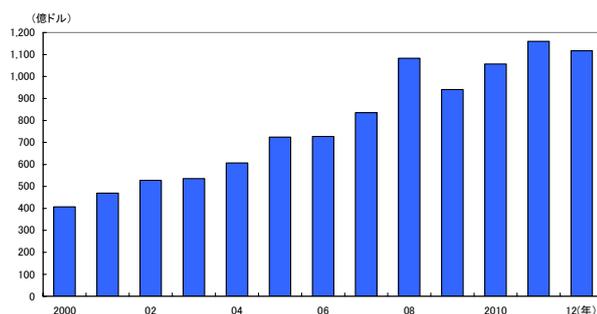
2012年の対中直接投資の状況

中国商務省は、1月16日に2012年の中国の対内直接投資(実行ベース)を発表した。中国側統計により対中直接投資の状況をみる。

1. 2012年対中投資3年ぶりに減少

2012年の全世界合計の中国への直接投資額は、1,117億ドル(前年比3.7%減)とリーマン・ショック後の09年以来3年ぶりに減少に転じた。対中投資の前年割れは、欧州債務問題の影響などによる世界経済の低迷、それを受けての中国経済の減速と中国における労働コスト上昇等を背景に外資系企業が中国への投資を見直したためであると見られている。

図1. 世界からの対中直接投資の推移



出所: 中国商務部「中国投資指南」、以下の表図も同じ。

2. 日本が台湾を抜き、香港に次ぐ投資国に

2012年の国・地域別動向を見ると、1位は香港の713億ドル(前年比7.4%減)、2位は日本の74億ドル(同16.3%増)、3位はシンガポールの65億ドル(同3.3%増)となり、2011年には2位であった台湾が62億ドル(同8.1%減)の4位となった。台湾からの中国への直接投資が減少したのは、中国における人件費の上昇や契約や労働環境に関するトラブルの発生などのリスクを回避し、人件費の安いアジアの他の国に向けたためと見られている。以下、5位米国、6位韓国と続いている。

表 中国の対内直接投資

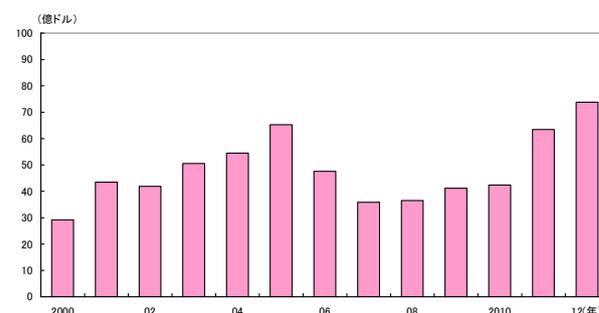
(単位: 百万ドル、%)

	2011年			2012年		
	実行金額	構成比	伸び率	実行金額	構成比	伸び率
香港	77,011	66.4	14.1	71,289	63.8	▲ 7.4
日本	6,348	5.5	49.6	7,380	6.6	▲ 16.3
シンガポール	6,328	5.5	11.9	6,539	5.9	3.3
台湾	6,727	5.8	0.4	6,183	5.5	▲ 8.1
米国	2,995	2.6	▲ 26.1	3,130	2.8	4.5
韓国	2,551	2.2	▲ 5.3	3,066	2.7	20.2
ドイツ	1,136	1.0	21.8	1,471	1.3	29.5
オランダ	767	0.7	▲ 19.4	1,144	1.0	49.2
英国	1,610	1.4	▲ 1.9	1,031	0.9	▲ 36.0
全世界	116,011	100.0	9.7	111,716	100.0	▲ 3.7

3. わが国の対中投資が過去最高に

2012年は、日中国交40周年を迎え、節目の年であったが、日中関係は後退した。顧みると、わが国には、1980年代後半、1990年代前半、2000年代前半と、3回にわたる対中投資ブームがあり、日本企業が進出した。2005年には実行ベースで65億ドルを記録し、その後、一時減少したものの、2008年は増加に転じた。2008年秋のリーマン・ショックにより、2009年は世界的に景気が後退したが、中国経済は景気刺激策の効果もあり、堅調に推移した。中国市場の将来性は評価され、わが国の対中投資も伸びていった。2012年は、中国の投資環境についての懸念が一層高まったものの、74億ドル(前年比16.3%増)と5年連続して増加し、過去最高水準の投資額を記録した。

図2. 日本からの対中直接投資の推移



一方、台湾の対中投資に鈍化が見られており、チャイナリスクに対する懸念が高まる中、今後、日本の対中投資の動向も楽観できない状況にある。

(調査グループ 関谷裕介)